■松平光長　　高田藩主。現在も追慕される藩最盛期を現出したが，見せしめで改易され，赦免後は長寿を保った。
まつだいらみつなが
大坂夏の陣・1615＝　　_越前国福井藩主松平忠直の子に生まれる。母は将軍徳川秀忠の娘勝子。
徳川家康没・1616＝ 1歳：

徳川家光将軍1623＝ 8歳：_父忠直が豊後へ流されたため，家督を継ぎ，北庄藩(のちの福井藩)藩主となる。
ｲｽﾊﾟﾆｱ断交・1624＝ 9歳：_高田転封を命ぜられ，北庄へ転ずる叔父の高田藩主松平忠昌と入れ代わったが，幼年だったため，母と共に江戸屋敷に入り，小栗正高・荻田隼人の両家老が越後に下った。知行ははじめ25万石。

紫衣事件・・1629＝14歳：将軍家光の一字をもらって，光長と改名。越後守。

徳川秀忠没・1632＝17歳：
鎖国令Ⅰ・・1633＝18歳：
鎖国令Ⅱ・・1634＝19歳：_母とともに，初めて高田に入る。

家光鎖国完成1641＝26歳：
初の高札・・1642＝27歳：

御蔭参流行・1650＝35歳：_父が配所で死去したため，
徳川家光没・1651＝36歳：*幕府は，父の遺子ふたりを光長の家臣とし，ふたりの土地5000石と父の遺領5000石の計1万石を越後に替地したので，領地は26万石となり，その範囲は，越後の頸城全郡と刈羽・三島・魚沼郡のうちに多数，さらに信濃更科郡の一部におよんだ。同年従三位右近衛権中将に任ぜられ，越後様・越後中将とも呼ばれる。

明暦の大火・1657＝42歳：

・・・・・・1660＝45歳：
_凶作や大火が多いなか，家老小栗正高の強力な指導によって，藩制の整備・中江用水の開削，大漬(その他の新田開発，魚沼銀山の採掘，城下町の復興整備，直江津港の改修，大鹿煙草の改良増産などが進められ，

諸宗寺院法度1665＝50歳：_特に地震による大災害とともに，小栗正高が死去するも，あとを継いだ子の家老小栗美作の指導が続いて，高田藩最盛期を現出し，その繁栄は現在も追慕されるほどであるが，
酒井忠清大老1666＝51歳：

ｼｬｸｼｬｲﾝの乱 1669＝54歳：

_藩の重臣間に分裂対立があり，

・・・・・・1674＝59歳：*嫡子が病死したため，藩主光長の継嗣問題が絡んで，藩内の抗争が激化し，お家騒動"越後騒動"となり，

_大老酒井忠清の裁定で一旦落着するものの，
藤十郎登場・1678＝63歳：

徳川綱吉将軍1680＝65歳：
天下一禁止・1681＝66歳：*新将軍綱吉が再審して裁定，一門重臣は切腹や遠島とされ，自らは諸大名への見せしめとして，改易に処され，従三位権中将の官位を剥奪された上，伊予国松山藩預けとなる。
好色一代男・1682＝67歳：困難に耐えかねた家臣筆頭用人佐久間主計が辞意をほのめかし，
堀田正俊暗殺1684＝69歳：続いて，近所用達役大熊六左衛門が出家遁世を表明したのを，自ら説得して思い留まらせるなどするも，

_自らは淡々と生活するうち，
生類憐令始・1687＝72歳：
日本永代蔵・1688＝73歳：_赦免され，官位官職を復されて，江戸柳原の拝領屋敷に入り，将軍綱吉に謁見して御礼，
・・・・・・1689＝74歳：備後に配流されていた養嗣子綱国も赦されて，戻ってきたが，幕府を憚って，廃嫡にし，

_この間，見せしめとしたことを気の毒に思ったのか，綱吉とその母桂昌院から，毎年江戸城に召されて歓待され，さまざまな品物を下賜され続ける。
奥の細道・・1693＝78歳：従弟の陸奥白河城主松平直矩の三男宣富を養子に迎え，
芭蕉+師宣没 1694＝79歳：傘寿に当り，将軍の恩顧に応えて，城中で「自然居士」の舞を披露。
生類憐令頂点1695＝80歳：
重秀勘定奉行1696＝81歳：
・・・・・・1697＝82歳：*隠居，
吉保大老格・1698＝83歳：宣富が美作津山藩十万石を拝領して，_家名再興を見届け，なお，風雅を楽しみながら余年を送り，
富士宝永噴火1707＝92歳：超高齢を保ち，江戸の津山藩邸で，_没した。

「江戸大名の晩年と隠居」，平凡社百科事典，「江戸大名データファイル127人」，